

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月31日 (第1回)
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	小田原市 142069
地域名 (地域内農業集落名)	川東南部地区 (下府中、国府津、酒匂)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	121 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	66 ha
② 田の面積	20 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	101 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	10 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	17 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	9 ha
(備考)70才以上の農業者の農地面積については、令和6年度時点のアンケート調査回答者分	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>・当地区は、酒匂川と曾我丘陵との間に位置し、梅や柑橘を主体とした果樹や、水稲、野菜を生産する複合経営が行われている地域で、地域一体となって農産物のブランド化等にも取り組んでいるが、農業者の高齢化と後継者・担い手不足は著しく、農地についても営農しておらず、管理のみ行っている所有者も増えてきており、農業をやめたい、農地を手放したいという希望の農家の方が多くなっている。</p> <p>・農地との接道状況等の営農環境の悪化や耕作放棄地の増加、鳥獣・害虫被害、肥料の購入をはじめとした農業経費の増加、所得の減少も課題となっている。</p> <p>・農地と住宅が近接している地区では農薬散布についてのトラブルも発生するなど営農環境が悪化している。</p> <p>・農道沿いの優良農地も荒廃するなど、耕作放棄地化が進んでいる。</p> <p>・気候変動(高温化)による農作物への影響も課題。</p> <p>【地域の基礎的データ】(農林業センサス2020より)※令和2年度 総農家数:147戸(うち、農業経営体数:65経営体) 農業経営体数の年齢状況:70歳以上 50.8%(うち、75歳以上 36.9%) 主な作物:水稲、梅、みかん、キウイフルーツ、野菜</p>
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>・農地については、認定農業者や認定新規就農者等の現在の担い手に限らず、新規就農者や法人をはじめとした多様な農業を担う者の受け入れと農地の集約化を進めていく。</p> <p>・農地活用手段の一つとして、地区内には市民農園活用事例があり、それらも参考にして検討していく。</p> <p>・兼業農家・自給的農家が農業を継続できる環境づくり・取り組みを検討する。</p> <p>・農道・水路といった営農環境の改善、整備についても検討していく。</p>
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
目標地図に位置づけた者を基本としながら、新規就農者や法人をはじめとした地域内外からの多様な農業を担う者の状況に応じて集積・集約化を図り、地元農業者についても引き続き農地の保全に努める。小田原市農政課・農業委員会・JA等で連携を取りながら、農地の貸し借りの意向情報を収集し、農地中間管理機構への貸し付けを進めつつ、農用地の効率的な利用に向けて引きつづき調整を進めていく。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	1.37	%	将来の目標とする集積率 30 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
目標地図に位置づける者、多様な担い手を中心に農地中間管理事業を通じた集積・集約化を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用して、認定農業者や認定新規就農者等の担い手、その他多様な農業を担う者への農地集積を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構については組織統合による名称変更の影響等で認知度が低いため、農地中間管理事業の認知度を高め、その上で高齢や健康面等で耕作できなくなり後継者のいない方の農地については農地中間管理機構を活用して、既にある担い手及び新たな担い手への農地集積を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
担い手のニーズを踏まえ、農道整備事業を期限を定め計画的に実施する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域、市、JAで連携し、地区内外からの耕作希望者や新規就農者・法人をはじめとした経営体の確保を行うとともに、定年帰農や半農半X、農福連携といった地域内外からの多様な経営体を募り、担い手の確保・育成につなげていく。若い人に農業が生きていくための食糧を生産している仕事であることを認識してもらい、営農していく上での策や情報を伝え、就農への希望が持てるよう、取り組んでいく。講習会の実施等、技術面でのサポートによる、担い手の育成も検討していく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業委託等については、今後要望が増加していくものと思われ、地域での支え合いと、委託の必要性について検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

<p>【選択した上記の取組内容】</p> <p>①市や小田原市鳥獣被害防止対策協議会が行う制度(捕獲報奨金、侵入防止柵購入費補助等)を活用して、鳥獣被害対策を実施していく。また、地域の捕獲者との連携も検討していく。</p> <p>⑩スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の被害について、発生地域では対応策を講じ、未発生地区については農機具等への付着で持ち込まないような対策を農地の集約と併せ検討する。</p> <p>⑩新たな作物(気候変動による暑さに対応できる作物等)の導入を検討していく。</p>

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者	■■■■■	水稲・果樹	1.5 ha	0.15 ha	水稲・果樹	1.5 ha	0.15 ha	22	
2	利用者	■■■■■	果樹	1.96 ha	0 ha	果樹	1.96 ha	0 ha	253	
3	利用者	■■■■■	果樹	0.3 ha	0 ha	果樹	0.3 ha	0 ha	255	
4	利用者	■■■■■	果樹	0.13 ha	0.07 ha	果樹	0.12 ha	0.07 ha	405	
5	利用者	■■■■■	水稲、果樹	0.12 ha	0 ha	水稲、果樹	0.11 ha	0 ha	406	
6	利用者	■■■■■	果樹	1.9 ha	0 ha	野菜、果樹	0.5 ha	0 ha	407	
7	利用者	■■■■■	水稲、果樹	0.3 ha	0 ha	水稲、果樹	0.3 ha	0 ha	408	
8	利用者	■■■■■	果樹	0.28 ha	0 ha	果樹	0.28 ha	0 ha	409	
9	利用者	■■■■■	果樹	0.16 ha	0 ha	果樹	0.16 ha	0 ha	410	
10	利用者	■■■■■	水稲	0.18 ha	0.13 ha	水稲	0.18 ha	0.13 ha	411	
11	利用者	■■■■■	水稲、野 菜、果樹	1 ha	0 ha	水稲、野 菜、果樹	1 ha	0 ha	412	
12	利用者	■■■■■	果樹	0.36 ha	0 ha	果樹	0.356 ha	0 ha	413	
13	利用者	■■■■■	果樹	0.58 ha	0 ha	果樹	0.578 ha	0 ha	414	
14	利用者	■■■■■	果樹	0.14 ha	0 ha	果樹	0.13 ha	0 ha	415	
15	利用者	■■■■■	野菜、果樹	0.65 ha	0 ha	野菜、果樹	0.65 ha	0 ha	416	
16	利用者	■■■■■	水稲、果樹	1.17 ha	0 ha	水稲、果樹	1.17 ha	0 ha	417	
17	利用者	■■■■■	水稲	0.29 ha	0 ha	水稲	0.29 ha	0 ha	420	
18	利用者	■■■■■	野菜、果樹	0.7 ha	0.3 ha	野菜、果樹	0.7 ha	0.3 ha	421	
19	利用者	■■■■■	水稲、果樹	0.5 ha	0 ha	水稲、果樹	0.5 ha	0 ha	424	
20	利用者	■■■■■	果樹	0.24 ha	0 ha	果樹	0.24 ha	0 ha	425	
21	利用者	■■■■■	果樹	0.1 ha	0 ha	果樹	0.1 ha	0 ha	426	
22	利用者	■■■■■	果樹	0.17 ha	0 ha	果樹	0.17 ha	0 ha	428	
23	利用者	■■■■■	果樹	0.1 ha	0 ha	果樹	0.1 ha	0 ha	469	
24	利用者	■■■■■	果樹	0.33 ha	0 ha	果樹	0.33 ha	0 ha	476	
25	利用者	■■■■■	果樹	1 ha	0 ha	果樹	1 ha	0 ha	482	
26	利用者	■■■■■	野菜、果樹	0.6 ha	0 ha	野菜、果樹	0.28 ha	0 ha	670	
27	利用者	■■■■■	果樹	0.1 ha	0 ha	果樹	0.1 ha	0 ha	671	
28	利用者	■■■■■	水稲、果樹	0.1 ha	0 ha	水稲、果樹	0.1 ha	0 ha	672	
29	利用者	■■■■■	水稲、果樹	1.5 ha	0 ha	水稲、果樹	1.5 ha	0 ha	673	
30	利用者	■■■■■	果樹	0.25 ha	0 ha	果樹	0.25 ha	0 ha	674	
31	認農	■■■■■	水稲、果樹	1.26 ha	0.2 ha	水稲、果樹	1.26 ha	0 ha	676	
32	利用者	■■■■■	果樹	1.6 ha	0 ha	果樹	1.6 ha	0 ha	677	
33	利用者	■■■■■	果樹	0.1 ha	0 ha	果樹	0.1 ha	0 ha	679	
34	利用者	■■■■■	果樹	0.1 ha	0 ha	果樹	0.1 ha	0 ha	680	
35	利用者	■■■■■	果樹	0.5 ha	0 ha	果樹	0.3 ha	0 ha	681	
36	利用者	■■■■■	果樹	0.83 ha	0 ha	果樹	0.58 ha	0 ha	682	
37	利用者	■■■■■	水稲、果樹	0.5 ha	0 ha	水稲、果 樹、花き	0.5 ha	0 ha	685	
38	利用者	■■■■■	果樹	0.25 ha	0 ha	果樹	0.25 ha	0 ha	686	
39	利用者	■■■■■	水稲、果樹	0.2 ha	0 ha	水稲、果樹	0.2 ha	0 ha	687	
40	利用者	■■■■■	野菜、果樹	3.5 ha	0 ha	野菜、果樹	3.5 ha	0 ha	688	
41	利用者	■■■■■	果樹	1 ha	0 ha	果樹	1 ha	0 ha	691	
42	利用者	■■■■■	果樹	0.5 ha	0 ha	果樹	2 ha	0 ha	694	
43	利用者	■■■■■	果樹	0.09 ha	0 ha	果樹	0.09 ha	0 ha	767	
44	利用者	■■■■■	果樹	0.1 ha	0 ha	果樹	0.1 ha	0 ha	771	
45	認就	■■■■■	果樹	0.4 ha	0 ha	果樹	0.4 ha	0 ha	938	
46	利用者	■■■■■	果樹	0.24 ha	0 ha	果樹	0.24 ha	0 ha	950	